

2024 年度

ニチキッズみずえ小規模保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 15 日（水）～2 月 21 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月25日（火）
	実施方法	話し合いにより職員全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念を基に、子どもの人権を尊重し、自ら「したい」「やってみたい」という意欲を言葉やしぐさで表現でき、「自分で」の思いを大切にしていくことで、自立心を育み、情緒が安定して過ごすことができるように取り組んだ。
子どもの発達援助	子どもがありのままの姿がだせるように発達や状況、その子どもの取り巻く環境を理解し、すべて受け止め、保育者の支持を待つのではなく、「自分でやりたい」思いを大事にし、実現できるよう、子どもからの小さな発信に気づき、意欲的・主体的に活動できるように援助することができた。
保護者に対する支援	子どもが園生活の中で「できる」までの成長過程を一緒に見守り共感し、「できた」時の達成感を一緒に喜びあった。また、保護者が子育てする中で悩みや困り感などを日頃から話しあい、子どもの小さな変化や気づきを伝え、信頼関係を深めていくことに努めていた。
保育を支える組織的基盤	外部研修では、乳幼児期の発達理解、保護者支援で必要なことを学び、園内研修では SIDS 予防（乳幼児突然死症候群）、心肺蘇生法、事故予防、嘔吐時対応等について実技研修を主に実施した。研修内容を職員会議やミーティングで気づきや知識を職員間で情報共有し、保育の質の向上を図った。

総評
保育理念や保育方針を土台に、子ども一人一人が温かい雰囲気の中で愛着関係を深め心地よいと感じられるようにスキップを十分とり、保護者と連携をとりながら信頼関係を築いていくことができた。 食育では、色々な食材に触れ、関心を持ち、五感を大切に、自分で食べたい意欲が育つように保育者に見守られ、友だちと一緒に食べる楽しさを経験し、食育を高めていくことができた。 次年度も子どもたちが「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」を基に、一人一人の個性や特性を引きだし、様々な体験の中で好奇心や探求心が旺盛な子どもたちと一緒に子どもも保育者も保護者も楽しめる保育園を目指していきたい。